

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (沖縄)	良くなる	家電量販店（総務担当）	・増税前の駆け込み需要が3月に向け本格化する。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現状の予約状況から見込まれる2、3か月先の稼働率においては、前年同月実績を上回る見込みである。企業等の団体宿泊利用も含め、予約が動き始めてきている。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・3月、4月と観光客の予約状況が好調に推移している。旅行代理店の担当者によれば、消費税増税前の駆け込み需要が要因の1つではないか、とのことだった。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・ファストフードやデザート類の売上増加が期待される。
		コンビニ（経営者）	・前年より、街の集客力が良くなっている。
		通信会社（店長）	・消費税増税前の駆け込み需要が3月の学生を対象としたサービスの契約の繁忙期と重なって相当期待ができるが、4月以降は冷え込みが予想される。
		通信会社（サービス担当）	・アベノミクスや一括交付金などの影響で良くなると思われる。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	・消費税増税前の駆け込み需要で、3月の状況は例年よりも良いとみている。ただし、4月以降は悪化すると思われるため、全体を通してみて変わらないという判断である。
		コンビニ（エリア担当）	・消費税増税前の駆け込み需要で、多方面において2月中旬～3月は売上がアップすると予測する。ただし、4月以降は必ずその反動がある。
		衣料品専門店（経営者）	・ここ数か月、テレビ等で報道されるほど景気は良くなっていると思えない。全体的には横ばいが続いており、売上の的には前年より若干ダウンしている状態である。今のところ先行きにはあまり良い材料が見当たらない。
		衣料品専門店（経営者）	・3月に限れば、消費税引上げ前の駆け込み需要で景気は良くなるとみているが、4月に急激に落ち込むのではないかと懸念している。5月、6月は引上げに慣れてきて、戻ってくるのではないかと考えている。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・アベノミクスにより景気感が少しずつ上向いていることを感じるが、まだ少し来客数が増えてきたかもしれないという程度にすぎず、売上金額には反映されていない。
住宅販売会社（代表取締役）		・もうしばらくは、消費税増税前の駆け込み需要の反動からの受注回復に時間を要するとみられる。	
やや悪くなる	百貨店（営業企画）	・3月は消費税増税前の駆け込み需要で上がるとみられるが、特に4月はその反動は免れないと判断している。6月まで前年を割るとの見通しを立てている。	
	コンビニ（エリア担当）	・増税後の動きが読みづらいが、4月以降は必ず駆け込み需要の反動がある。景気が回復するまでにどれくらいかかるかわからないが、購買意欲を損ねない販促、戦略が必要である。	
	旅行代理店（マネージャー）	・消費税が上がって少しの間は買い控えが増えそうである。	
	ゴルフ場（経営者）	・利用人数は見込みよりやや落ち込んでおり、その落ち込みをカバーするための善処策を取る予定である。	
	住宅販売会社（総務・企画分野）	・建売棟販売などの消費税増税前の駆け込み需要が3月で終わり、住宅営業の受注は減少すると考える。しかし、住宅ローン減税やフラット35の100%融資等の制度を活用できれば、「悪くなる」まではならないと考える。	
	悪くなる	商店街（代表者）	・中心商店街のエリアは来客数も落ちている。観光客が歩いていても、なかなか売上が伸びない状態で、お土産品店も大変苦戦をしているようである。アベノミクスの効果が現れるまで時間がかかり、当分は厳しいと予測している。
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）		・消費税増税が大きな壁となっており、4～6月の3か月間が生死をかけた戦いとなる。	
企業動向関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	通信業（営業担当）	・沖縄の営業担当から、首都圏で大型案件等が動き始めているとの話があった。沖縄の情報系専門学校の就職担当の話でも本土企業の採用が目立ち、就職率も良いようである。今後沖縄への景気の波及は望めそうである。
		会計事務所（所長）	・消費税率が上がるまでの限定ではあるが、全体的な景気が上向きであることから、傾向としては良くなる方向にあるとみられる。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末に向け、公共工事、民間工事の増加が見込まれる。
輸送業（代表者）		・客先の受注残は積まれており、施工業者自身が鉄筋や型枠工等の職人不足が発生する程、需要が活性化している。	

		広告代理店（営業担当）	・県内企業が消費税増税に伴う売上減少を懸念する傾向が強まるなかで、販促予算を削減する可能性はあるが、現時点においては現状を維持するものと予測している。
	やや悪くなる	建設業（経営者） 輸送業（本社事業本部）	・様子見、あるいは検討期間の長い客が多い。 ・消費税増税前の駆け込み需要による物量増は予測されるが、瞬間的なものであり、継続して取扱量が増える可能性は無いとみられる。逆に取扱量が控えめになる可能性が大きいとみている。
	悪くなる	食料品製造業（総務）	・4月の消費税増税による消費の減少が考えられる。
雇用 関連	良くなる	-	-
(沖縄)	やや良くなる	求人情報誌製作会社（総務担当）	・求人数が、前年同月比で微増ではあるが、増加し続けている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・2月と3月は例年求人数が増える傾向にあるため、採用も増える。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・次年度の新卒採用活動が早々に始まっている。
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	・今年採用の求人は増加傾向にあるが、それが景気に直結するかは、いまだ分からない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（総務担当）	・現在受注の案件で短期案件は、3月末終了の予定が大半を占め、また、長期案件についても4月以降の更新は、消費税増税の影響もあり、減少するとみられる。4月以降は、派遣ニーズへの影響が懸念される。
	悪くなる	-	-